

Oracle Forms - Oracle Reports - Oracle Designer Statement of Direction

Oracle Inc.
2007 年 11 月

はじめに

Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer を使用して開発されたアプリケーションにかなりの投資をしてきたオラクルの顧客から、これらの製品に対するオラクルの戦略とコミットメントに関する質問がよくあります。ここでは、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer に対するオラクルのソフトウェア開発戦略を要約して、この質問に答えることを目的としています。このドキュメントは3つの部分で構成されます。

- 最初の項では、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer に対するオラクルのソフトウェア開発戦略を説明します。
- 次の項では、これらの製品の特定リリースに対するオラクルのサポート・ポリシーと今後の予定を説明します。
- 3番目の項では、これらの製品を使用する顧客への具体的な技術的推奨事項を提供します。

1. オラクルの製品戦略

1.1 開発ツール製品戦略

オラクルの開発ツール戦略は、インターネット・モデル上でエンタープライズ・アプリケーションの開発を可能にするソフトウェア開発ツールを提供することです。このソフトウェア開発ツールは、次の2つの並列した製品群から構成されます。

- **従来の開発ツール**：このソリューション・セットは、Oracle Designerのモデリング環境、Oracle Formsのアプリケーション開発フレームワーク、Oracle Reportsのバッチおよびスケジュール済みレポート・ソリューションから構成されます。これらのツールのプログラミング言語と実行環境はPL/SQLです。
- **Java開発ツール**：オラクルは、業界におけるJava/J2EEテクノロジーの急速な成長と採用を認識しており、Oracle JDeveloperにおけるUMLベースのモデリング環境と3GL開発の選択肢、統合されたJ2EE Application Development Framework (Oracle ADF)、オラクルのビジネス・インテリジェンス・ツールで将来提供する予定のJavaベースのエンドユーザー・レポート・ソリューションも顧客に提供します。これらのツールのプログラミング言語はJavaであり、アプリケーションの実行環境はオラクル独自のOracle Container for J2EE (OC4J) を含む任意のJ2EEコンテナです。

オラクルは引き続き両方のテクノロジーに投資しそれらを発展させますが、投資に対する具体的な重点は、それぞれのソリューションへの市場の要求により異なります。

顧客がこれらの2種類のテクノロジーで開発されたアプリケーションを一緒に使用できるようにするため、そして共通の開発および運用環境の利点を得るため、

オラクルは Oracle Developer Suite 内での両方のテクノロジーのデザイン・タイム環境と Oracle Application Server 内でのランタイムも統合しました。

1.2 Oracle Forms および Oracle Reports の Oracle Application Server との統合

Oracle Application Server は、統合されたインフラストラクチャであり、インターネット・モデル上でエンタープライズ・アプリケーションをデプロイおよび管理します。アプリケーション・ランタイム環境を含む複数のランタイム機能を統一することで、J2EE および Oracle Forms アプリケーションをサービスとしてデプロイし、固定機器およびモバイル機器からエンタープライズ・ポータル経由でサービスにアクセスし、これらのアプリケーションを従来のシステムと統合して、問合せおよび分析とレポート作成のビジネス・インテリジェンスを提供します。さらに、共通のセキュリティ・サービス、共通の管理機能、共通のスケラビリティと可用性アーキテクチャを備えた共通の配置環境を提供します。

オラクルは次の 3 つの理由で、Oracle Application Server に Oracle Designer (Web PL/SQL)、Oracle Forms、Oracle Reports のランタイム環境を統合しました。

- **3 層アーキテクチャへのアプリケーションのデプロイ**：オラクルは、顧客にアプリケーションをキャラクタ・モードからクライアント/サーバーへ、そしてクライアント/サーバーから 3 層インターネット・モデルへシームレスに移行する機能を提供してきました。また、Oracle Forms および Oracle Reports の顧客には、アプリケーションを再コーディングせずにクライアント/サーバーから Web にアップグレードできる機能や、別のテクノロジーに移行できる移行ユーティリティを提供します。Oracle E-Business Suite を含む何百もの顧客がこの移行を無事に完了しています。この情報は、www.oracle.com で確認できます。
- **相互運用とアプリケーションの拡張**：さらに、オラクルは Oracle Forms および Oracle Reports アプリケーションが Oracle Application Server にデプロイされた他のアプリケーションと共存および相互運用することを可能にする機能を提供しています。具体例：Oracle Forms には Java/J2EE アプリケーションまたは Web サービスを起動するランタイム・インタフェースがあり、Oracle Forms および Oracle Reports アプリケーションを Oracle Portal やその他の機能へ公開することができます。これらのサービスは、アプリケーション開発者がオラクル提供の開発テクノロジーのいずれかのセットを使用して、相互運用可能なエンタープライズ・アプリケーションを構築できるように設計されています。
- **共通の運用環境と管理環境の活用**：Oracle Application Server 内でこれらのサービスを統合することで、顧客の管理コストも削減されます。具体的には、いくつかの共通の管理機能の統合であり、それに含まれるものとして、共通のセキュリティ・アーキテクチャ (Oracle Single Sign-On および Oracle Identity Management)、共通の管理アーキテクチャ (Oracle Enterprise Manager)、共通のスケラビリティおよび可用性アーキテクチャ (Oracle Process Management and Notification、Oracle HTTP Server およびモジュール)、共通のテクノロジー・スタック (単一 Oracle_Home へのインストール)、データベースの必須サポー

ト・ファイル (RSF) の共通セット、共通の JDK 環境と JRE 環境、およびその他の機能があります。

1.3 Oracle Designer、Oracle Forms、Oracle Reports の特定のフォーカス・エリア

オラクルは、Oracle Designer、Oracle Forms および Oracle Reports のランタイム環境の Oracle Application Server への統合に加え、これらの製品のユーザー・グループから寄せられたもっとも重要な 3 つの問題への対応にも引き続き重点を置いています。

- **バージョンからバージョンへのスムーズなアップグレード**：まず、Oracle Forms および Oracle Reports の新しいバージョンへの移行能力を制限するもっとも重要で複雑な課題は、アップグレードするたびにすべての Oracle Forms アプリケーションを再コンパイルしなければならない点であり、これは多くの顧客から指摘されました。この再コンパイルの必要性は、PL/SQL バージョン間およびデータベース・リリース間のデータベースの必須サポート・ファイル (RSF) の非互換性によるものです。この非互換性により、Oracle Forms および Oracle Reports が新しい RSF バージョンを早急に選択することや、顧客が新しい PL/SQL 機能を早急に活用することを困難にしています。オラクルは、互換性の変更をデータベースのメジャー・リリース間（たとえば、Oracle 9i Database から Oracle Database 10g）に限り、メンテナンス・リリース内（Oracle Database 10g Release 1 から Release 2）の PL/SQL および RSF の互換性を維持することで、この問題に対応しています。
- **Oracle Forms および Oracle Reports のスタンドアロン・インストール**：次に、Oracle Forms および Oracle Reports を Oracle Business Intelligence および Oracle Forms のインストール・モデルのコンテキストで使い始めた顧客がいる一方で、スタンドアロン 6i 環境からアップグレードして、Oracle Forms および Oracle Reports をスタンドアロン・インストールとして使用したい顧客もいます。この要求には Oracle Application Server Release 10g (v 9.0.4) で対応しています。
- **製品の安定性** - 何千ものアプリケーションが構築されている確立した製品として、オラクルはこれらの製品の各リリースで安定性と品質を改善し続けます。たとえば、以前のリリースと比べて、Oracle Developer Suite 10g (v 9.0.4) における Oracle Forms および Oracle Reports Builder の安定性は飛躍的に改善され、Oracle Web PL/SQL アプリケーションの mod_PL/SQL の安定性も引き続き改善されています。

このような具体的な技術的努力によって、Oracle Designer、Oracle Forms、および Oracle Reports の顧客がアプリケーションをより迅速かつ容易にアップグレードし、アプリケーション・サーバーおよびデータベースで新しい機能をより効率的に活用できるようにしています。

製品戦略に従い、Oracle Forms および Oracle Reports のすべての新しい機能と強化は、おもに次の点に重点を置いています。

- できる限りスムーズに、Web および新しいリリースにアップグレードすること
- Oracle Forms および Oracle Reports アプリケーションによるアプリケーション・サーバー・サービスの最大限の活用と、J2EE アプリケーションとの相互運用を可能にすること

Oracle Designer では、Oracle Designer 10g 以降の新しい機能や強化の要求は計画されていません。製品は完全にサポートされ、製品の安定性には重点を置きますが、新しい機能は含まれません。

2. オラクルのサポート・ポリシー

2.1 製品の長期サポートのコミットメント

Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer は大規模かつ非常に積極的にインストールされ、これらのツールを使用して開発されたアプリケーションは、Oracle E-Business Suite など、多くのビジネスの基盤となっています。オラクルでは、このような多量の投資について認識しており、これらの製品に対して長期にわたるサポートを約束しています。

これらの製品のサポートを廃止する計画はありません。さらに、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の新しいバージョンは引き続きリリースされ、Oracle Application Server および Oracle Developer Suite の将来のバージョンに統合される予定です。

Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の各リリースは、これらの製品に対するオラクルのサポート・ポリシーにより、Oracle Developer Suite、Oracle Application Server、Oracle Database Server の特定のバージョンと同じ期間サポートされる予定です。たとえば、Oracle Developer Suite 10g (9.0.4) および Oracle Application Server 10g (9.0.4) と共に提供された Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の特定のリリースは、オラクルがサポートする Oracle Application Server のバージョンと同じ期間サポートされます。これは Oracle Developer Suite と Oracle Application Server のそれ以降のリリースにも適用されます。

このようにサポート予定を連動させるオラクルの戦略には、次の 2 つの理由があります。

- **Oracle Database RSFのサポート**：まず、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designerのバグ修正の中には、Oracle Database RSFでも必須の修正であるものがあります。オラクルはOracle Database Serverの特定バージョンのサポート廃止ポリシーに従い、その後少ししてから、データベースのそのバージョンと依存関係のあるOracle Application Serverの特定バージョンのサポートを廃止します。この期間中、データベースで発見済みの問題に対する 1 度限りの修正は、引き続きOracle Application Serverの顧客へ提供されます。
- **Oracle Application Serverのサポート**：次に、Oracle Forms、Oracle Reports、およびOracle Designerのバグ修正の中には、サブレット・エンジン、シングル・サインオン、セキュリティ・サービス、またはポータルといった、Oracle Application Serverのその他の側面において必須の修正であるものがあります。結果として、一貫性のあるポリシーに従うことで、これらの製品に対し一貫性のある方法でメンテナンスを提供できます。

これに関連して、それぞれの製品に対し 2 種類のサポート期間が提供されます。このサポート期間は Oracle Designer、Oracle Forms および Oracle Reports に同様に提供されます。

- **Error Correction Support(エラー修正サポート)**：この期間中は、プログラム更新、問題を修正するためのパッチ、一般メンテナンス・リリース、後続バージョンからの修正のパツ

クポート、さらに、サポートされる製品、新しい OS リリース、新しいコンパイラの認証が提供されます。

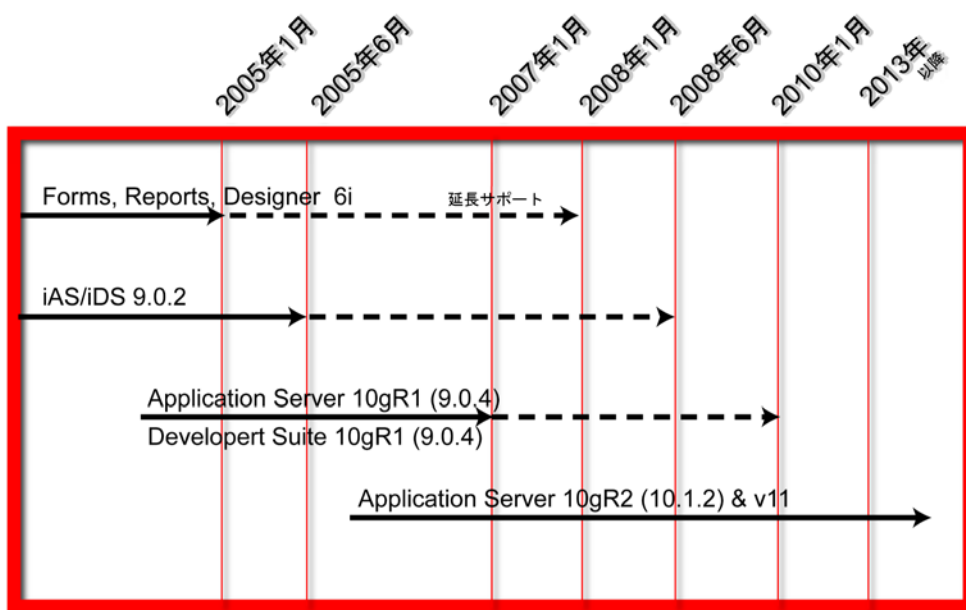
- **Extended Support(延長サポート)** : この期間中は、サービス要求、既知の回避策、既存の製品の修正による支援が提供されます。完全にサポートされるプログラムとバージョンへの移行も支援されます。

2.2 オラクルのサポート・ポリシーと今後の予定

このガイドラインに基づく、Oracle Designer、Oracle Forms、Oracle Reports の 6i、9i、10g リリースに対するエラー修正サポートと延長メンテナンス・サポートの期間を次の表に示します。Oracle Developer Suite と Oracle Application Server の後続リリースのサポート日は、その製品のリリース日が近づいてから示されます。

製品	Error Correction Support(エラー修正サポート)の終了	Extended Support(延長サポート)の終了
Oracle Forms、Oracle Reports、Oracle Designer 6i	01/31/2005	01/31/2008
Oracle9i Developer Suite (9.0.2)	Oracle9i Application Server v9.0.2 と同じ 07/01/2005	Oracle9i Application Server v9.0.2 と同じ 07/01/2008
Oracle Developer Suite および Application Server 10g (9.0.4)	Oracle Application Server 10g (9.0.4) と同じ 12/31/2006	Oracle Application Server 10g (9.0.4) と同じ 12/31/2009
Oracle Developer Suite および Application Server 10g (10.1.2) Phase 2	Oracle Application Server と同じ - 日付は未定	Oracle Application Server と同じ - 日付は未定
Oracle Developer Suite および Application Server の将来のリリース	Oracle Application Server と同じ - 日付は未定	Oracle Application Server と同じ - 日付は未定

今後の予定



Oracle Forms、Oracle Reports、Oracle Designer のサポートの影響

Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の 6i および 9i リリースのサポート期間の具体的な影響を次に説明します。

Oracle Forms および Oracle Reports

A. Oracle Forms および Oracle Reports 6i

バージョン 6i はクライアント/サーバーとキャラクタ・モードの配置をサポートする最後のバージョンなので、このリリースに対するサポートの廃止日は延長され、顧客がアプリケーションを Web へとアップグレードし、製品の最新バージョンに移行できるようにしています。Oracle Forms および Oracle Reports 6i は、2008 年 1 月 31 日までサポートされます（Extended Support(延長サポート)フェーズは 2005 年 2 月 1 日より）。Oracle Forms および Oracle Reports 6i のサポート廃止についての詳細は、メタリンクを参照してください。

B. Oracle Forms および Oracle Reports 9i、10g 以降

オラクルは依然として Oracle Forms および Oracle Reports に注力しているので、これらの製品の開発を中止する計画はありません。Oracle 9i Application Server 以降のリリースでは、Oracle Forms および Oracle Reports は Oracle Application Server のコンポーネントです。したがって、Oracle Forms および Oracle Reports は、アプリケーション・サーバー・プラットフォーム全体として同じサポート・サイクルに従います。Oracle Application Server のリリースおよびサポート廃止日についての詳細は、メタリンクを参照してください。

Oracle Application Server の将来のリリースには引き続き Oracle Forms および Oracle Reports コンポーネントが含まれ、すべてのコンポーネントに対し、できる限りスムーズなリリース間のアップグレードが保証される予定です。Oracle Forms および Oracle Reports は引き続き強化され、Oracle Application Server の将来のバージョンには新しい機能が導入される予定です。オラクルの開発チームはすでに Oracle Forms および Oracle Reports 11g 以降の機能に取り組んでいます。このことは、前

述のコミットメントと連動し、オラクルがすでに開発リソースを投入しており、少なくとも 2013 年までは Oracle Forms および Oracle Reports のサポートを行う予定であることを意味します。

Oracle Designer

A. Oracle Designer 6i

Oracle Forms および Oracle Reports 6i のサポート廃止と連動し、Oracle Designer 6i は 2008 年 1 月 31 日までサポートされます (Extended Support(延長サポート)フェーズは 2005 年 2 月 1 日より)。

B. Oracle9i Designer および Oracle Designer 10g

Oracle Designer 9.0.2 以降のリリースでは、Oracle Designer は Oracle Developer Suite のコンポーネントです。したがって、Oracle Designer は Oracle Application Server のサポート・サイクルと連動し、スイート全体として同じサポート・サイクルに従います。Oracle Developer Suite のリリース日およびサポート廃止日についての詳細は、メタリンクを参照してください。Oracle Designer のあらゆるリリースを使用する顧客は、継続的なバグ修正と定期的な更新を利用し続けるために、できる限り早く Oracle Designer 10g (9.0.4) またはそれに続く 10g メンテナンス・リリースへのアップグレードを推奨します。

Oracle Designer には新しい機能または強化の導入予定はありませんが、引き続き完全なサポートが提供され、Oracle Developer Suite の将来のリリースの一部であり続けます。

3. 顧客への推奨事項

Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer を使用している顧客が、アプリケーション開発戦略に関する具体的な推奨事項をオラクルに期待していることを認識し、この項では Oracle E-Business Suite のアプリケーションにおける独自の社内使用のテクノロジーに基づく具体的なガイダンスを提供します。

3.1 Oracle E-Business Suite

Oracle E-Business Suite のアプリケーションは、Oracle Forms の” 専門的なユーザー・インタフェース”、Oracle Reports のレポート機能、Oracle Designer のデータベース・スキーマ設計を幅広く活用し、次の製品戦略を推進しています。

- **クライアント/サーバーからWebへの移行** : クライアント/サーバー・モードで開発されたすべての Oracle E-Business Suite のアプリケーションは、現在、インターネット配置モデルへと移行しています。これにより、顧客にはより低コストの配置モデルと、テクノロジー・スタックまたはアプリケーションの移行を必要としない管理が提供されます。インターネット配置モデルへ移行する場合、Oracle E-Business Suite のアプリケーションは、ランタイム・プラットフォームとして Oracle Application Server を利用します。
- **最新バージョンへのアップグレード** : Oracle E-Business Suite も、安定性の利点を活用し、最新バージョンの Oracle Database (RSFs) を使用して、それらのバージョンの新しい機能を入手するために、最新バージョンの Oracle Forms 10g および Oracle Reports 10g へとアップグレードされています。

- **Java/J2EEとの相互運用**：インターネット・モデルへの移行と最新リリースの Oracle Application Serverへのアップグレードにより、Oracle E-Business Suiteは、Java/J2EEで構築されたモジュールを含むOracle FormsおよびOracle Reportsアプリケーションと共存し相互運用することも可能になります。
- **Oracle JDeveloperを使用した新しいモジュールの開発**："セルフ・サービス・ユーザー・インタフェース"と新しいOracle E-Business Suiteモジュールは、現在Oracle JDeveloperを使用して開発されたJ2EEアプリケーションです。これらの新しいアプリケーションは、Oracle FormsおよびOracle Reportsアプリケーションと同じアプリケーション・サーバーに配置され、相互運用と、同じインフラストラクチャおよび共通サービスの共有が可能です。さらに、Oracle FormsとJ2EEアプリケーションは、データベースPL/SQLストアド・プロシージャを使用して既存のビジネス・ロジックを共有できます。

Oracle E-Business Suite には、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer を使用して構築された大量のコード・ベースがあるので、顧客はオラクルがこれらの製品の現在および将来のバージョンを引き続き適切な期間サポートすることを依然として確信しています。

3.2 オラクルの顧客への推奨事項

Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の顧客は、次に示す Oracle E-Business Suite のアプリケーションと同様の方法に従うことが推奨されています。

(i) インターネットへの移行、(ii) Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の最新バージョンへのアップグレード、(iii) Oracle Application Server を使用したこれらのアプリケーションと新しい J2EE アプリケーションとの相互運用および共存

セルフ・サービス・モデルへの移行や、HTML ユーザー・インタフェースを提供する市場の圧力などの新しい要求に直面している顧客に対し、Java2 Enterprise Edition(J2EE)仕様により、以前は開発者が利用できなかったアプリケーション開発の新しいオプションのセットが開かれました。したがって、顧客がこれらの機会を活用し、J2EE を利用してアプリケーションの拡張機能を構築することを全面的に期待します。このように、オラクルの戦略は Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の開発者が熟知している J2EE 開発環境とモデリングも提供します。

Oracle JDeveloper 10g は、視覚的および宣言型の開発経験と、J2EE 開発を簡略化し、生産性と Oracle Forms の使いやすさを J2EE プラットフォームにもたやすために設計されたエンドツーエンド・アプリケーション開発フレームワーク (Oracle ADF) を提供します。

Oracle E-Business Suite は、この開発環境におけるすべての J2EE アプリケーションの開発を標準化することに成功しました。

Oracle JDeveloper 10g および Oracle ADF は、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の顧客に最適なツールです。それは同様の開発モデルを引き継いでいるからです。ただし、J2EE と Oracle Forms および Oracle Reports との間には、アーキテクチャの違いがあるので、これらのツールで構築されたアプリケーションを J2EE に移行するための完全な移行ソリューションを提供する計画はありません。

その代わり、オラクルは、Oracle Forms および Oracle Reports と同様のコンセプトに基づく J2EE 開発環境を提供し、Oracle Forms および Oracle Reports の開発者に、新しいが馴染みのある環境で生産性を向上させる機会を提供します。

結論

オラクルは、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer について、長期にわたりサポートすることを全面的に約束します。このサポート・サイクルは、Oracle Application Server と Oracle Developer Suite と連動します。Oracle Designer には新しい機能が加えられることはありませんが、Oracle Forms および Oracle Reports は引き続き発展して、顧客がアプリケーションを Web へと容易にアップグレードし、Oracle Application Server が提供する集中配置と共有サービスの利点を得ることを可能にします。

業界における Java/J2EE テクノロジーの急速な成長と採用を認識しているため、オラクルの戦略は生産性の高い J2EE 開発環境（Oracle JDeveloper および Oracle ADF）も提供し、Oracle Forms、Oracle Reports、および Oracle Designer の顧客が、視覚的で宣言型の使い慣れた RAD を使用しながら J2EE 開発を取り入れることを可能にします。

Oracle E-Business Suite の成功例に従い、既存の Oracle Forms および Oracle Reports アプリケーションを Web 配置にし、Oracle JDeveloper および Oracle ADF を使用して J2EE での新しい開発の可能性を考え、これらのアプリケーションをアプリケーション・サーバー上に統合して、共通サービスとビジネス・ロジックを共有することを推奨します。

この戦略により、顧客は自分のペースで段階的に J2EE へ移行でき、生産的で使い慣れた開発環境（Oracle JDeveloper および Oracle ADF）を使用しながら、引き続き長期にわたる既存の投資を活用し続けます。